

歴史教育シンポジウム「アジアの現代史と歴史教育」

◆主 催 日本学術会議史学委員会、日本歴史学協会

◆日 時 平成23年10月22日（土） 13：30～17：00

◆場 所 学習院大学 北2号館 10階 大会議室
http://www.gakushuin.ac.jp/m_map/index2.html

◆開催趣旨

本シンポジウムは、毎年、日本歴史学協会と共同主催によって開催している。

今年度は「東アジア現代史」に焦点を当て、近年の当該地域の現代史研究の最前線を専門の研究者に報告していただくとともに、教育の現場からも「東アジア現代史」の教育実践を報告していただき、全体として「東アジア現代史」が研究・教育に提起する諸課題について議論を深めることを目的とする。

◆次 第

開会挨拶（13:30～13:40）

木村茂光（日本学術会議会員、東京学芸大学教育学部教授・日本史）

司会 栗田伸子（東京学芸大学教授・ローマ史）

報告（13:10～15:45）

久保 亨（日本学術会議連携会員、信州大学人文学部教授・中国史）
「中国現代史をどう考えるか」

根本 敬（上智大学外国語学部教授・ビルマ史）
「戦中・戦後のビルマ史」

駒田和幸（桐蔭学園高校教諭）
「辛亥革命からワシントン体制」の授業実践」

休憩（15:45～16:00）

討論（16:00～16:50）

閉会挨拶（16:50～17:00）

高埜利彦（日本学術会議連携会員、学習院大学文学部教授・日本史）